

ビジネスパートナーのための環境に関する 要求事項

要求事項の詳述



図1：屋上でのAir 3268の設置。



内容

1	はじめに.....	3
2	適用範囲.....	3
3	環境に関する一般要求事項.....	4
4	気候変動に関する要求事項.....	5
5	製造に関する要求事項.....	5
6	製品に関する要求事項.....	6
7	輸送に関する要求事項.....	7
8	インシデントの報告.....	7



1 はじめに

エリクソンは、自社の事業が環境に影響を及ぼすことを認識しており、自社の事業活動や製品によって生じる環境への悪影響を軽減し、可能な限り排除するよう努めています。

環境への悪影響を軽減するには、バリューチェーン全体を考慮する必要があります。そこでエリクソンは、ビジネスパートナーの皆様（以下「ビジネスパートナー」）に綿密な環境マネジメントプログラムの策定をお願いしており、環境的側面においてビジネスパートナーと良好な協力関係を築くことを最も重要視しています。

2 適用範囲

エリクソンは、特に腐敗防止や、労働と人権、労働安全衛生、環境、気候変動を含む企業倫理に関する要求事項を記載した「ビジネスパートナーのためのエリクソン行動規範」を発行しています。本文書は、「ビジネスパートナーのためのエリクソン行動規範」を補足するものとして環境に関する特定の要求事項を規定しており、責任ある企業連合（RBA）の環境に関する要求事項と、国連グローバル・コンパクトの10原則に基づきます。

ビジネスパートナーは、エリクソンや、その顧客またはビジネスパートナーとの間で行う以下の業務について、本文書「ビジネスパートナーのための環境に関する要求事項」で規定された要求事項を遵守するものとします。

- 部品や製品の製造、納入
- 製品輸送およびサービス提供のための車両運行
- 建設工事、供給サービス、現場保守、ネットワーク展開
- 特定された環境的側面や関連する影響を、本文書で規定された要求事項に従って制御する必要がある場合
- 環境に悪影響を及ぼす可能性のある環境リスクを伴う場合

定義や一般的な要求事項については、「ビジネスパートナーのためのエリクソン行動規範」をご覧ください。「ビジネスパートナーのためのエリクソン行動規範」と本文書は、以下のサイトでご覧いただけます。<http://www.ericsson.com/responsible-sourcing>

機密性レベル	外部の機密ラベル	文書番号	改訂版	日付
開示可		1056-LZT 108 8544 Uen	F	2021年12月 21日



3 環境に関する一般要求事項

3.1 危険物、有害物質、有害廃棄物

危険物、化学物質、有害廃棄物、その他人間や環境に危険を及ぼす物質や材料は、その安全な取り扱い、移動、保管、使用、リサイクルまたは再利用、廃棄を徹底するために、識別、ラベル付け、管理を行う必要があります。

- ビジネスパートナーは、危険物、化学物質、有害廃棄物、その他人や環境に有害な物質や材料を可能な限り低減するものとします。
- ビジネスパートナーは、危険物、化学物質、有害廃棄物、その他の物質や材料に関わる事件や事故が発生した場合に環境や健康への悪影響を軽減するため、報告手順を含め、一般的に認められている国際基準に沿った適切なプロセスと方法を確保する必要があります。

ビジネスパートナーは、危険物や有害化学物質をエリクソンに提供する場合、安全データシート¹（SDS）、または化学物質や混合物以外の商品については、SDSと同様の危険特定・軽減措置が記載された技術説明書を提供する必要があります。

3.2 固形廃棄物

ビジネスパートナーは、固形廃棄物（非危険物）を特定、管理、削減し、責任を持って廃棄またはリサイクルするための体系的なアプローチを実施する必要があります。ビジネスパートナーは、廃棄物削減のための目標と計画を定めて実施するとともに、その影響を明らかにすることが求められます。ビジネスパートナーの事業から生じるすべての廃棄物は、可能であれば、リサイクルまたは再利用のために分別するものとします。

また、ビジネスパートナーは要求に応じて、廃棄物削減の目標、計画、実績についてエリクソンに報告するものとします。

¹化学物質の登録、評価、認可および制限（REACH）に関する欧州議会および理事会規則（EC）1907/2006。

機密性レベル	外部の機密ラベル	文書番号	改訂版	日付
開示可		1056-LZT 108 8544 Uen	F	2021年12月21日



3.3 大気への排出

事業活動から発生する揮発性有機化学物質、エアゾール、腐食剤、微粒子、オゾン層破壊物質、燃焼副産物の大気排出は、地域の法律や規制、一般に認められた国際基準の要求に従って、排出前に特性評価を行い、定期的に監視、管理、処理しなければなりません。オゾン層破壊物質は、モントリオール議定書や²適用される規制に従って効果的に管理する必要があります。ビジネスパートナーは、大気排出制御システムの性能を定期的にモニタリングするものとします。

3.4 水管理

ビジネスパートナーは、水源、および水の使用・排出について文書化し、特製評価と監視を行うとともに、節水の機会を模索し、汚染経路を制御する、一般に認められた国際基準に従った水管理プログラムを実施しなければなりません。すべての廃水は、排出または廃棄される前に、必要に応じて特性評価、モニタリング、管理、処理を行うものとします。ビジネスパートナーは、最適なパフォーマンスと規制遵守を徹底するため、廃水処理・封じ込めシステムのパフォーマンスを定期的にモニタリングすることが求められます。

ビジネスパートナーは、要求に応じて、水管理に関する計画、目標、実績についてエリクソンに報告するものとします。

4 気候変動に関する要求事項

エネルギー消費や温室効果ガスの排出が重要な環境側面として特定される場合、ビジネスパートナーは、スコープ1、スコープ2、および該当する場合はスコープ3について温室効果ガスプロトコルを使用し、二酸化炭素換算（CO₂e）³でカーボンフットプリントを計算しなければなりません（温室効果ガスプロトコル<http://www.ghgprotocol.org/>）。

ビジネスパートナーは、要求に応じて、カーボンフットプリントの削減目標、計画、実績についてエリクソンに報告するものとします。

5 製造に関する要求事項

ビジネスパートナーは、特定された環境的側面や関連する環境リスクを管理し、環境に配慮した方法で製造を行っていることを示す必要があります。

² <https://www.unep.org/ozonaction/who-we-are/about-montreal-protocol>

³ 二酸化炭素換算とは、ある種類・量の温室効果ガスがどの程度の地球温暖化を引き起こすかを、機能的に等価な二酸化炭素（CO₂）の量または濃度を基準として示すための指標です。

機密性レベル	外部の機密ラベル	文書番号	改訂版	日付
開示可		1056-LZT 108 8544 Uen	F	2021年12月 21日



ビジネスパートナーは、製造工程で使用する物質について、「エリクソン禁止・制限物質リスト」 (<http://www.ericsson.com/responsible-sourcing>) の要求事項を遵守するものとします。

製造や組み立て作業による汚染物質の排出や廃棄物の発生は、発生源において、または汚染防止装置の追加、製造・メンテナンス・設備プロセスの変更、あるいはその他の手段により、最小化または排除しなければなりません。また、制御・処理システムの性能を定期的にモニタリングし、点検を行う必要があります。

生産・メンテナンス・設備プロセスの変更や、材料の代替、再利用、保全、リサイクル、その他手段によって、水、化石燃料、鉱物、原生林産物などの天然資源を節約することが求められます。

6 製品に関する要求事項

ビジネスパートナーは、エネルギー消費や、材料の使用、使用後の処理などの要素を考慮し、製品やサービスのライフサイクル全体において、環境への悪影響を低減する設計やサプライチェーン活動を実施することが求められます。

ビジネスパートナーは、「エリクソン禁止・制限物質リスト」 (<http://www.ericsson.com/responsible-sourcing>) の要求事項を遵守しなければなりません。このリストには、製品・包装の材料成分や製品の材料情報に関する制限が記載されています。

ビジネスパートナーは、木材や木材こん包材に関するISPM15規格など、関連する植物検疫、輸送包装、表示方法の基準をすべて遵守しなければなりません。また、「エリクソン禁止・制限物質リスト」の要求事項に準拠した形で処理を行う必要があります。

ビジネスパートナーは、要求に応じて以下を行うものとします。

- エリクソンに納入された製品の材料の含有量をすべて開示する。
- 製品のエネルギー消費量やエネルギー効率を開示する。
- サプライヤーの工程や製品について、ライフサイクルインベントリのデータを提供する。
- 納入された製品のライフサイクル終了時の取り扱いや処理に関する情報を提供する。
- 第三者の製品ベンダーは、エリクソンに納入された製品のライフサイクル終了後の処理（EoLT）を無償で保証するソリューションを提供するものとします。



7 輸送に関する要求事項

- ビジネスパートナーは、合理的に可能な限り最も環境に優しい輸送手段（陸上、海上、鉄道など）を使用し、環境への悪影響を軽減することが求められます。
- ビジネスパートナーは、エリクソンのために物品を輸送する場合や、サービスを提供する場合、燃料効率の良い低排出ガスの車両を使用しなければなりません。
- ビジネスパートナーは、利用可能な市場において、非化石燃料を動力源とする車両を使用するよう奨励されています。
- ビジネスパートナーは、要求に応じて、物品送の環境的側面に関する情報（カーボンフットプリント、輸送手段、包装材、生産拠点など、）をエリクソンに提供するものとします。

8 インシデントの報告

ビジネスパートナーは、エリクソンとの係わりに関連する場合、ビジネスパートナーのための行動規範や本文書の要求事項に関連する、環境に悪影響を及ぼす可能性のある事象について報告を行う必要があります。インシデントの報告はこちらから行うものとします：[Global Incident Reporting Tool（グローバルインシデント報告ツール） - OHS GIRT - エリクソン](#)

インシデントとは、大気、大地、水、野生生物などの環境に悪影響を及ぼす、または及ぼす可能性のある事象を指します。環境インシデントの例としては、倉庫での電池の液漏れや、敷地内でのディーゼルエンジンからの漏出、化学物質の不適切な保管などが挙げられます。

機密性レベル	外部の機密レベル	文書番号	改訂版	日付
開示可		1056-LZT 108 8544 Uen	F	2021年12月 21日